



Cat[®] 725

アーティキュレートトラック

Cat[®] 725は、世界中のオペレータからのフィードバックに基づいて再設計された世界トップクラスのキャブを備えており、快適性と操作性が向上しています。新しいコントロール、トランスミッション保護機能、ホイストアシストシステム、先進自動トラクションコントロールシステム、オートマチックリターダコントロール、安定性アシスト車両転倒警告システム、燃料を節約するエコモードなど、いくつもの改良が行われています。

定評ある信頼性

- Cat C9.3エンジンは、定評のある信頼性をさまざまなプラットフォームで発揮します。
- 地形に基づくスロットルコントロールによって、起伏の多い地面でもスロットル入力が滑らかになり、乗り心地が向上します。
- 設計の共通化と簡素化を通じて信頼性が向上し、オーバーホール間隔が長くなります。
- 排気システムへの影響が最小化されていて、卓越した応答性と十分な出力が得られます。
- 油圧リターダによって、制動レスポンスと制動力が向上しているため、下り坂でも安定した運転ができます。
- アフタートリートメント技術によって排出ガスが削減されていて、窒素酸化物の排出量は米国EPA Tier 4 Interim/EU Stage IIIBと比較して80%削減されています。

耐久性

- すべての構造とコンポーネントが、広範な試験と豊富なお客様の経験を通じて実証されています。
- 高機能サスペンションによって、起伏の激しい路面でも速度が向上し、衝撃負荷が軽減されます。
- フロントサスペンションは±6度揺動し、滑らかな乗り心地を実現します。
- 優れたフレーム設計によって、ねじれ負荷に対応でき、ヒッチ部への応力が減少し、サスペンションの形状が最適化されています。
- フレームはロボット溶接されており、最高レベルの耐久性を実現しています。
- 前進から後進または後進から前進へすばやく切り替えた場合には、方向シフト保護によってパワートレインが保護されます。

生産性の向上

- 先進自動トラクションコントロール (AATC) によって、ホイールのスリップが低減され、最高のトラクションと生産性の向上が実現します。オペレータの操作なしで、完全に自動で作動します。
- オートマチックリターダコントロール (ARC) により、オペレータによる操作なしにリターダを制御できます。作業の開始から終了まで完全に自動化されています。
- Caterpillar独自のホイスト/トランスミッション統合レバーによって、トランスミッションレバーに複数のコントロールが配置され、パーキングブレーキが組み込まれているため、オペレータの操作が50%も軽減されます。
- トラックの絶縁を解除したり、キャブドアを開けたりすると、車両ウェイクアップによって車両システムが始動します。
- 排気筒の高さが抑えられているため、全体の車高が低くなり、排気筒を取り外さずに輸送できます。

燃料効率の向上

- ボタン1つで作動できるエコノミーモードを使用すると、生産性に影響を与えることなく燃料消費量を削減できます。
- 次世代の車両設計によって、メンテナンスコストを最低限に抑えながら、同等の優れたパワーと応答性を達成して、燃費の向上を実現します。
- 画期的な吸排気管理システムにより、エアフローが最適化され、出力と燃料効率がさらに向上しています。
- 完全に自動化されたリターダ制御により、オペレータによる操作が無くても、エンジンの過回転を防止でき、パワートレインコンポーネントを保護できます。

操作が容易で、オペレータが快適に過ごせる環境

- ・ コントロールやディスプレイのレイアウトがシンプルで直観的なため、オペレータは、車両の安全運転と生産性の維持に集中することができます。
- ・ 再設計されたキャブ構造により、ガラス面積が増加し、リアクォーター部の視認性が向上しています。
- ・ 自動キャブ空調制御。
- ・ 優れた視界と振動の低減を実現し、簡単に折りたたむことができるキャブ取付け式のミラー。
- ・ 前方の視界を確保するミラーによって、車両のすぐ前方の視認性が向上します。
- ・ タッチスクリーンを使用して、システムのモニタリングと調整を簡単に行うことができます。
- ・ スライド式ウィンドウにより、換気や対話が容易になります。
- ・ 十分な収納スペースがあり、運転室を整頓できます。

作業をやり遂げるためのテクノロジー

- ・ 集中制御システムにより、事実に基づいた判断を適時に下すことができ、効率の最大化、生産性の向上、コストの削減につながります。
- ・ Product Link™システムで各車両をワイヤレス接続し、車両の位置、稼働時間、燃料消費量、生産性、非稼働時間、診断コードを監視できます。
- ・ オペレータは、タッチスクリーンディスプレイで積載質量をリアルタイムで確認したり、目標質量を設定したりできます。
- ・ 外部ペイロードインジケータランプが積載をやめるタイミングを積込機に知らせるため、過積載のリスクを減らすことができます。
- ・ スタビリティアシストソフトウェアは、万一、車両の転倒が発生した場合に、オンラインのVisionLink®を介して情報を報告するため、車両の履歴を認識しやすくなります。

組み込みの安全機能

- ・ 作業中にトラクタやトレーユニットの傾きが不安定な角度に近づいた場合、Cat Detectスタビリティアシストが音声と視覚でオペレータに警告します。
- ・ 車両の運転中にシートベルトが装着されていない場合、シートベルトインジケータが音声と視覚による警告を發します。
- ・ ギヤが入り、オペレータが着座していない場合、オペレータ着座検知システムがパーキングブレーキを作動させます。
- ・ 万一、メインブレーキ回路とセカンダリブレーキ回路の両方が故障した場合、緊急停止ブレーキスイッチにより車両を安全に停止できます。
- ・ キャブルーフの四隅にある広角ビームライトの一体型ペイロードランプ (Cat Production Measurement (CPM) オプションが装備されている場合) は、積込機のオペレータおよび現場監督者に優れた視認性を提供します。
- ・ プライマリシステムで低圧が感知されると、セカンダリステアリングが自動的に作動します。

メンテナンスコストを低減

- ・ 耐久性に優れた柔軟なフェンダにより、修復不能な損傷のリスクが下がるため、修理費用を抑えることができます。
- ・ 耐久性を追求した設計と整備のしやすさにより、アップタイムの最大化と整備コストの低減を実現します。
- ・ ユニバーサルジョイントは常に潤滑されているため、メンテナンスは不要です。
- ・ 冷却水の配合によって腐食が減り、コンポーネントの寿命が延びます。
- ・ サイドに傾斜できるキャブ、電動式ボンネット、アクセスパネル、Catデータリンクコネクタにより、メンテナンスが容易になるように車両全体が設計されています。

標準およびオプション装備品

標準およびオプション装備品は異なる場合があります。詳細については、Catディーラーにお問い合わせください。

	標準	オプション		標準	オプション
オペレータ環境			パワートレイン		
エアコン - R134a冷媒使用	✓		自動シフト前進6速と後進1速のトランスミッション	✓	
ホイストコントロール統合型ギヤセレクトレバー	✓		Cat C9.3エンジン	✓	
液晶ディスプレイ (LCD、Liquid Crystal Display)	✓		CX31トランスミッション	✓	
ミラー: 大きくなり視認性向上	✓		Catクリーンエミッションモジュール (CEM) および排気後処理パッケージ	✓	
ヒータ付き電動ミラー		✓	ディファレンシャル: 自動クラッチ付き インターアクスルおよびクロスアクスル ディファレンシャルロックを標準装備	✓	
車両作動モニタリングシステム	✓		デュアルサーキット密閉湿式ブレーキ - 全輪	✓	
Bluetoothラジオステレオシステム		✓	油圧リターダ	✓	
シート: オペレータ - 完全調整可、エアサスペンション、巻取り式ラップベルト。トレーナ用 - パッド入り、巻取り式ラップベルト付き	✓		3 - アクスル (6輪駆動)	✓	
ヒータ/クーラ付きシート		✓	安全性		
シートベルト、4点式		✓	後退アラーム	✓	
セカンダリステアリング - 電気油圧式	✓		リアビューカメラ	✓	
サンバイザ	✓		ROPS/FOPSキャブ	✓	
チルト/テレスコ機能付きステアリングホイール	✓		ガード		
タッチスクリーンディスプレイ (リアビューカメラビデオ画像表示機能付)	✓		アクスル	✓	
フロントワイパおよびウォッシャー、2段変速、間欠式	✓		クランクケース	✓	
シングルスピードリアワイパ		✓	ラジエータ	✓	
テクノロジー			リアウィンドウ	✓	
Cat Detectスタビリティアシスト	✓		その他		
Cat Production Measurementペイロードモニタリングシステム		✓	ベアリング給脂用の自動給脂装置		✓
マシンセキュリティシステム (MSS)		✓	ベアシャーシ (ボディなし) 標準ホイールベース		✓
PLE631 (衛星)		✓	ボディライナ		✓
PLE641 (携帯電話回線) (地域とライセンス契約による)	✓		寒冷地用クーラント (-51 °C (-60 °F) まで)		✓
電気系統と照明			ボディヒーティング		✓
メンテナンスフリーバッテリー (2個)	✓		急速燃料給油システム		✓
寒冷始動装置		✓	燃料添加剤 - ロウ化防止		✓
エンジンブロックヒータ		✓	マッドフラップ: ホイールアーチおよび本体取付け部、トランスポートーションタイバック	✓	
エーテル始動		✓	シザー型テールゲート		✓
電気系統: 24 V、5 A 24 V-12 V用コンバータ		✓	S-O-S SM サンプリングバルブ	✓	
点滅式LEDビーコン		✓	騒音低減パッケージ (EFTA*以外ではオプション)		✓
照明システム: キャブ室内灯、ヘッドランプ2個、車幅マーカー2個、後進ライト2個、作業ライト/キャブ昇降灯、ストップ/テールライト2個、フロント/リア方向指示器	✓		タイヤ (23.5R25) 6本	✓	
メインディスコネクトスイッチ		✓	盗難防止システム: ロック式キャップ	✓	
キャブルーフマウントのHID (High Intensity Discharge) 作業灯		✓	車輪止め		✓

* EFTA (European Free Trade Association、欧州自由貿易連合) 加盟国は、EU加盟国とアイスランド、ノルウェー、リヒテンシュタイン、およびスイスです。

Cat® 725アーティキュレートトラック

技術仕様

エンジン

エンジンモデル	Cat C9.3	
定格出力(グロス) - SAE J1995:2014	255 kW	342 hp
定格出力(ネット) - SAE J1349:2011	249 kW	334 hp
エンジン出力 - ISO 14396:2002	252 kW	338 hp
内径	115 mm	4.5 in
行程	1149 mm	45.2 in
総行程容積	9.3 L	567.5 in ³

- 公称出力は1,700 rpmでテストされています。
- 公称の定格出力(ネット)は、エンジンにオルタネータ、エアクリーナ、マフラが装着され、ファンが最低速度で回転している場合に、フライホイール部で得られるものです。
- ファンが最高速度で回転している場合の定格出力(ネット)は、SAE標準条件では249 kW (334 hp) です。
- 米国EPA Tier 4 Final, EU Stage VまたはEU Stage IV*, 日本オフロド法2014年基準、韓国 Tier 4 Finalの各排出ガス基準に適合しています。
- CAT SCRシステムで使用する尿素水は、ISO 22241-1:2006に規定されている要件を満たしている必要があります。ISO 22241-1:2006の要件には、AdBlue/API認証を受けた尿素水をはじめ、多くのブランドの尿素水が適合しています。

* Stage IVエンジンはEUオフロド排出ガス規制の移行条項に適合しています。

右記未満はエンジン出力低減なし	914 m	3,000 ft
ピークエンジントルク(グロス) (SAE J1995:2014)	1,729 N·m	1,275 lbf·ft
ピークエンジントルク(ネット) (SAE J1349:2011)	1,712 N·m	1,263 lbf·ft
ピークエンジントルク回転数	1,200 rpm	

質量

定格積載質量	24メートルトン	26.5トン
--------	----------	--------

ボディ容量

山積みSAE 2:1	15 m ³	19.6 yd ³
平積み	11 m ³	14.4 yd ³
テールゲート (SAE 2:1山積み)	15.6 m ³	20.4 yd ³
テールゲート (平積み)	11.1 m ³	14.5 yd ³

トランスミッション

回転数	km/h	mph
前進1速	8.1	5.0
前進2速	15.2	9.4
前進3速	23.2	14.4
前進4速	35.5	22.1
前進5速	49.4	30.7
前進6速	58.4	36.3
後進1速	8.9	5.5

規格

ブレーキ	ISO 3450: 2011
キャブ/FOPS	ISO 3449:2005 Level II
キャブ/ROPS	ISO 3471: 2008
ステアリング	ISO 5010: 2019

エアコンディショニングシステム

当機のエアコンディショニングシステムにはフッ素系温室効果ガス冷媒R134a (地球温暖化係数=1430) を使用。システムに含まれている冷媒の質量は1.1 kgで、CO₂換算で1.716メートルトン相当になります。

騒音レベル

キャブ内 69 ± 2 dB (A)

- 公示されている動作時の運転者音圧レベルは69 ± 2 dB (A) です。これは、ISO 6396:2008を適用し、密閉したキャブで測定した場合の値です。この測定は、冷却ファンを最高速度の70%にして行われました。騒音レベルは、冷却ファン速度により異なる場合があります。この測定はキャブのドアとウィンドウを閉めた状態で実施されています。キャブが適切に取付けられ、整備されている状態で測定されました。
- 長時間または騒音の激しい環境で、開放型の運転室やキャブで作業を行う場合、適切にメンテナンスがされていない場合、またはドア/ウィンドウが開いている状態で作業を行う場合は、聴力保護員が必要になることがあります。

運転質量

フロントアクスル - 空車時	14,050 kg	30,974 lb
センタアクスル - 空車時	4,646 kg	10,242 lb
リアアクスル - 空車時	4,426 kg	9,757 lb
合計 - 空車時	23,122 kg	50,975 lb
フロントアクスル - 定格積載質量	2,500 kg	5,511 lb
センタアクスル - 定格積載質量	10,750 kg	23,699 lb
リアアクスル - 定格積載質量	10,750 kg	23,699 lb
合計 - 定格積載質量	24,000 kg	52,910 lb
フロントアクスル - 積車時	16,549 kg	36,484 lb
センタアクスル - 積車時	15,397 kg	33,944 lb
リアアクスル - 積車時	15,176 kg	33,457 lb
合計 - 積車時	47,122 kg	103,886 lb

ボディプレートの厚さ

フロントプレート	7 mm	0.28 in
ベースプレート	13 mm	0.51 in
サイドプレート	11 mm	0.43 in
スカウプレート	13 mm	0.51 in

交換容量

燃料タンク	412.0 L	91.0 gal
冷却系統	83.0 L	18.0 gal
ステアリング/ホイスト油圧システム	110.0 L	24.0 gal
エンジンクランクケース	38.0 L	8.0 gal
トランスミッション	47.0 L	10.0 gal
OTG	24.0 L	5.0 gal
ファイナルドライブ(各)	7.5 L	1.6 gal
アクスル(各)	26/28/26 L	6/8/08 gal
尿素水タンク	20.0 L	4.0 gal

ボディホイスト

上昇時間	10秒
下降時間	8秒

AJXQ2698-02 (2020年12月)
 翻訳 (2021年01月)
 ビルド番号: 04A
 (N Am, Eur, Aus-NZ, Jpn)